

NUA'91 PRESS

発行日/1991年10月1日

発行人/酒井 豊

編集/同窓会役員会

デザイン/ブッシュ・クリエイティブスタジオ

発行所/愛知県西春日井郡西春町徳重1丁目481

名古屋芸術大学美術学部同窓会事務局

TEL (0568) 24-0325

2



人と仕事

戦争はいつの時代にも
正義のためだと思わされてきた。

石坂 啓

本名 福田啓子
昭和52年度洋画卒業 (第5期生)
漫画家



マンガ雑誌に、新聞に、またある時は、テレビにと活躍の場を拡げている、石坂啓さん。よく知られている「安穩族」、映画にもなった「キスより簡単」などは揺れ動く女の子の気持ちの細やかに描かれ、読者に新鮮な印象を与えてくれた。ところで、彼女の作品には、花井、今西と学生時代の同期生の名前が出てくる。「まんちゃん小日向君」もそんな作品で、それらのマンガはほのぼのとして、彼女の実直で豊かな人間性を感じられる。「学校はキライだったんです。で、マンガばかり描いていたのかな。生活もあるし仕方なくバイトにまわされてもいたな」と石坂さん。「デッサンだけはマンガにもプラスになるからしっかり描いてました。いまでも上手じゃないけど。今は絵が下手でも大丈夫な時代なんです」と笑う。「絵を描く環境未整備とかの不満を学校側に抗議したこともあります。他の油絵の学生達はどんな環境でも絵は描けるという意見の人が多く、絵を描いていくことに対する考え方にもズレがあり、私はハッキリ言って浮いていましたね」

名芸を卒業後、上京。手塚治虫氏の手塚プロでアシスタントをしながら自分のスタイルを作り上げていき、在社中に発表した「とろりんなんぼく」でデビュー、そして独立。彼女の作品のひとつで「ヤングジャンプ」に年一回づつ掲載されている「正しい戦争」について石坂さんは新聞のインタビューでこう答えている。「80年代は真面目なメッセージはダサイとくられていた時代だったので雑誌の中では浮いていたと思います。89年以降、天安門、ベルリンとつづいて今年の湾岸戦争で、反戦という言葉がリアルに響くようになってきたのではないかと……戦争はいつの時代も正義のためだと民衆は思われてきた」と。また活躍の場はテレビにも拡がり、十月からは名古屋の東海テレビの「パコパコチャンネル情報発信局」にコメンテーターとして登場する。

最後に一言で学校時代は、と訊ねると「淀んでいたというのか、挫折感とか幻滅感がありました。いま考えるとやりたい路線と違っていたので焦っていたのかもしれませんがね。でも、それがあっていまの私があるんです」と答えてくれた。



特集
学内結婚のススメ

学生時代のような
幸せな友達結婚が待っている?!

芸術大学である名芸は、一般大学より人間関係が濃くなる。そこで、さほど多くもない人数の若い男女が毎日顔をあわせていれば、恋の花咲くこともある。はたして、一般大学と比べ、学内結婚は多いのかどうか、調べてみることにした。なんと9期161名のうち、8カップル16名が学内結婚（左頁参照。データは学校で調べられる限りなので実数ももっと多いかもしれない）しているという数字が出てきた。これは9期の人数の割に当たり、一般大学では考えられない高いパーセンテージである。また、9、10、11期と高い数字が出ているのはなにか共通のワケがあるのだろうか。

絵画にしろ、彫刻にしろ、デザインにしろ、作品（課題）は自己表現なのだから、他人のことを理解し易いのは事実で、お互いの作品の意見をあれこれ言っているうちに相手を深く知ることができる。基本的にはみんな絵などを描くのが好きで入学してきている一種のオタクと言うか同好会みたいなものだから、およそ同じ方向を向いている仲間なので引き合うものも強いのもかもしれない（しかし反発も強い）。また、女子学生数のほうが少ないということは、力仕事は男子学生が手伝ってあげたりと、仲良くなるチャンスは結構多い。結婚を間直に控えたあるカップルの場合、男性が課題をやっていたという、剛の女性の告白もあった。デザイン科は授業が終われば、サッサと帰る学生が多いが、絵画、彫刻の学生は結構遅くまでアトリエに残っていたりする。展覧会に出品する作品を仕上げるために、体育会系のノリで気分が高揚して皆で徹夜するというのは美術系大学だけのことで、これも恋に落ちるポイントが高いのではないだろうか。皆に平等なチャンスは芸祭にある。ここでふたりの仲がステップアップしたカップルも多いのではないか。この時期には20年前から西春、徳重、岩倉と名鉄犬山線沿線で数々の出会いと別れのドラマが演じられているようである。

学校時代は公認のステディでもほとんどのカップル（半数以上）は卒業と共にフェイドアウト。結婚までこぎつけられるカップルは鮭の遡上のよ

人・間・空・間・たいせつに



株式会社 INAX

愛知県常滑市鯉江本町 〒479 TEL: (0569)35-2700(代)

昔は、音楽とのカップリングが、トレンドだった?!

その昔、いまから20年程前は美術学部の一般教養授業は2年間音楽学部の校舎で受けていた。そして、美術学部には女性の数が少なかった。となれば、元気な男子学生の目は音楽学部の方へ向けられるのは当然であり、またカップルも多かった。そんな時代のゴールインしたカップルのひとつ、加藤俊文さん(2期ID) 恵子さん(2期声楽)は「学生時代はふたりともアイビールックでいつも仲間と一緒にいました。今はお互い干渉せず、友達感覚で生活しているのが上手く行くコツで今でも学生時代の仲間が集まって年甲斐もなくワイワイやっています」と、いまでも学生気分満点。

名芸芸大祭にて 同窓会総会いよいよ開催

WE LOVE MEIGEI

青春に会いたい人は集まれ!

とき 11月2日(土) 午後1時より

ところ 名古屋芸術大学 美術学部
体育館

連絡先 0568-24-0325

スケジュール

PM 1:00 受付

2:00 同窓会 総会開催

3:00 ~4:30

中条泰彦氏記念講演会

社団法人・日本易学連合会副会長

『出世する顔、しない顔』

5:00 ~ 7:00

懇親パーティ

●ゴールドenブライズ表彰
受賞者

日本画 飯田祐二(6期)

洋画 杉浦尚史(5期)

デザイン 富田哲男(5期)

彫刻 該当者なし

●ピンゴゲーム

多くの誘惑に打ち勝ってこそ 学内結婚にゴールインできる!

えクルージングの状態に入ったカップルは大体26歳前後で結婚していく。障害が越えられなかったのだと思われるが、30歳に近くなってゴールインするカップル(交際年数10年にもなっていないはず)は、ほとんどいない。

例が多い。それはまるで、夕焼け空のグラデーションのようにうまくできている。その危機を乗り越え

デザイナー科の学生の場合、民間の会社に入るものが多いわけで、そこには強い誘惑が待ち構えている。古い恋がフェイドアウトし、同時に新しい恋

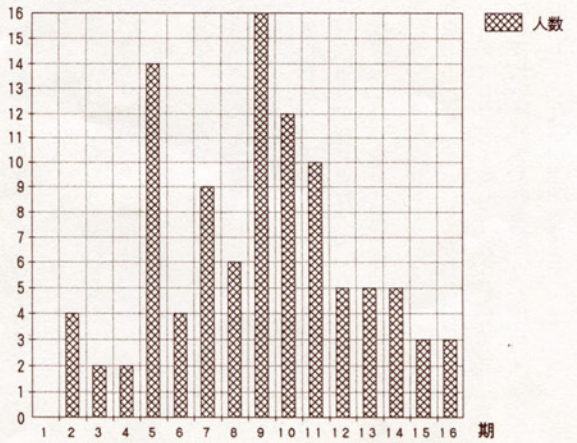


うにごくわずかな数になっ

学校時代ステディな仲ではなく(下地はあっただろうが)、卒業後偶然街で出会い、交際が始まり、そして結婚したというカップルもごくわずかだ。名芸の学生は東海三県からの学生が大半を占めているのだが全国からも学生が集まってきた。この距離がふたりの仲を割いてしまうこともあるようだ。また、あるカップルのように女性が鳥取県出身で、男性が北海道出身。卒業後すぐ就職、結婚(在学中も結婚していたといえはいえないことはないのだが)して、暫くはこの地方で生活。2、3年してから故郷に帰り家業を継ぐというようなケースも多いようだ。

みごとゴールインした7期絵画科洋画の中井吉英さんに話を聞いてみた。「早苗とは同期同クラスで卒業。その2年後に結婚しました。いまは、(俣)柏圭(ダイヤモンド輸入卸会社・ベルエクラ)の企画室で広告宣伝などの仕事をしており、名芸の卒業生も4人おります。『結婚10周年は、スイートテン ダイヤモンドを』とキャンペーンがあります。私たちもようやく10年で、自由気儘な生活は、ずっと学生時代の延長のようです。2人とも変わらない所が良いのでしょうか」とコマーションも折り込んだの話を伺った。まあ、どのカップルもそれほど驚くような劇的ドラマ(影にはあるのかもしれないが)は無く淡々と幸せな結婚生活を送っているようである。

■期別学内結婚者数



ベルエクラは海外(NEW YORK/ANTWERP/TEL AVIV/BOMBAY/HONG KONG/BANGKOK)に駐在員事務所を置く インターナショナル ダイヤモンド デイラーです。

カシケイ
株式会社 **柏圭** カシケイ

〒460 名古屋市中区栄3-9-17 電話:(052)261-7781(代表)
〒105 東京都港区新橋2-19-3 電話:(03)3575-0810(代表)
〒111 東京都台東区雷門2-6-1 電話:(03)3847-3550(代表)



水谷文彦

昭和59年度VD卒業(第12期生)
フォトグラファー
MIZUTANI STUDIO
名古屋市中区大須1-20-17

今は仕事におわれず、
作品を創っていききたい。

商業デザイン科を卒業後、フォトスタジオに入社。きびしい先輩について苦労したが、先生が仕事と作品を創ることをわけていて、スタジオで作品を創る場面も見えてきたから、自分も仕事だけに追われるのではなく作品を創るという気持ちを持つ事ができた。

6年間勤めた後、91年に名古屋・大須の実家を建て直し、6階建ての「水谷スタジオ」を構えた。なぜ名古屋で?やはり名古屋が好きだし、自分のカラーをもっていればどこにいてもいいと思う。東京ではこれだけのものは出来ないし、ここに人が集まり、名古屋の発信地になればと思っている。作品は、多重露光によるカラージュエ表現。普段見慣れている物、風景を、色・形を変えてやることによって、ちがう物に作りあげていく。写真+アートなもの。だから大学でデザインを勉強した事が役にたっている。もし写真専門学校に行っていたら今の様にはなっていなかったと思う。いい仕事をしたから、日常生活でも常に良い物を見、良い音を聞く様にしている。

写真の道に線路をひいてくれたのは、東京でアートディレクターとして活躍している兄。まだまだきびしい批評をくれるが、早く認めてもらってほしいに仕事が出来ればと思っている。



荻野佐和子

昭和62年度洋画卒業(15期生)
名芸大版画コース
非常勤講師
名古屋市昭和区川名本町

自分に正直な絵を
描き続けたい。

大学二年から版画に興味を持ち始め、学生時代後半は版画室にこもる日が続きました。卒業の時点で、どうしても版画から離れられなくなって自分の気持ち、多額の借金をしてアトリエ用のアパートとリトグラフのプレス機を手に入れました。以来ずっとそこで制作をしています。狭い空間ですが、今の私には最も心落ち着く場所のようです。

現在の仕事は、名芸大版画コースと養護学校で非常勤講師をしています。どちらも自分の未熟さを嫌というほど感じています。

名芸大の版画室は昔の版画同好会の事を思うと信じられないほど活気に満ちています。先生方と学生さんたちがひとつになって版画コースを盛り上げようとしている姿を見ると、とても刺激になります。

養護学校も実に得るものが多く、身体と脳にハンディを持ちながらも逞しく生きていく子供たちの中にいると、「絵とは何か」「なぜ描くのか」といった原点に振り返られるような気がします。将来への特別な目標もなく、毎日自分の中にたくさんさんの矛盾と不満を抱きながら制作をしているわけですが、一日一日を大切に、そしてその都度、自分に正直な絵を描き続けて行きたいと思っています。



荒木勝彦

昭和64年度洋画卒業(17期生)
㈱荒木板金工業所勤務
愛知県岩倉市稲荷町548

子供の発想に
インスパイヤーされることも。

大学卒業後、絵画研究のぼとして1980年より続けてきた二紀展を中心に、発表の場を拡げ、コンクール展にも多数応募してきました。

また個展、企画展での発表を通し、スタイルに拘わることのない自由な発想をインスタレーション等をふまえ、発表することにより、自分自身を持つ世界を拡げてゆきたいと思う。

近い将来の希望としては児童画中心の絵画教室を開き絵画制作の喜びをより多くの人に広めたい。また自分自身も子供の自由な発想にふれることによりインスパイヤーされ与えられることも多いと感じる。

今年の十一月五日(十日)に名古屋・伏見にあるラブコレクションギャラリーにて個展を開催する。

■画歴

- 79年 第33回二紀展初入選以後9回入選
- 85年 岩倉市図書館作品寄贈
- 88~91年 中日展入選
- 89・91年 中部総合美術展出品
- 89年 個展(ギャラリーハウスにて)
- 90年 企画展出品(ギャラリーハウスにて)

「インターナショナル ブティック」南館1・2F



- カステルバジャク
- ハンティング・ワールド
- エヴー
- フロリス
- トランス コンチネンツ
- アガタバリ
- クーカイ



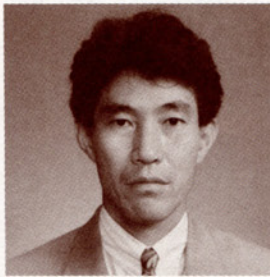
- ヴェルサーチ ジーンズ クチュール
- オフショーン
- オールウェイズ
- カシミヤハウス
- シェビニオン ガールズ
- ナラナミーチエ
- ベネトン

本店
松坂屋
☎(052)251-1111(大代表)

これを成功というなら、人生は楽しい。

憧れの片仮名職業「デザイナー」。これが現実を知らない純真な大学生の誤算の始まり。親の腰を骨までガリガリしゃぶり続けて大学卒業後、これまた憧れの東京へお上りさん。

ひよんな事から嬉し恥ずかし、博報堂で社会へデビュー。ヒヨッ子デザイナーの暗い暗い下積み時代、先輩諸氏の技術を横目でせつせと盗み、いつの間にか「味の素」担当の二丁前デザイナー。ところが、こいつが食わせ物。シビアな予算に屈な内容のリフレイン。ゲンナリ、ゲッソリの雨あられ。思わずバカヤローとケツまくり、気がつけば俗に言う「ブ太郎のご身分へ」と転落。ここぞとばかりに世を拗ね人を拗ねての遊び人すること数ヶ月。だが、世の中捨てたものじゃない。今の女房に出会って一念発起。たくましくも会社を設立したのは十年前の秋だった。ヤマツ氣とサギギリぎりのやり口で今やわが社は大所帯。さまざまあるサラリーマンと笑ったのも束の間。高騰する人件費に喘ぎ続ける会社運営。ふと勤めの頃が懐かしい。それでもやっぱり社長業、人を頭で使うこの快感。一度やったら止められない。振り返れば、人生「誤算と勘違いだらけ。そんなものサと決めつけて、今日も楽しく社長面。毎日愉快に社長業。アツハツハツ。」



舞田和憲

昭和49年度VD卒業(2期生)
 ㈱マディソン アベニュー
 代表取締役
 東京都千代田区富士見2-4-13
 エコービル

建築とインテリアとプロダクトデザインは一体的なもの。

1981年3月インテリアデザイナーとして東京で働く事に憧れ上京。7年前に、現在のヨコタデザインに入社。今までに国内の仕事はもとより海外の仕事も多く、香港、シンガポール、オーストラリアと、香港のオフィスをベースに手がけてきた。現在は、外資系の銀行の日本におけるリテールバンク展開のプロジェクトをメインで担当している。今年自分でもデザインしたスタイルがNYのデザイン誌にも紹介され十月より発売の運びとなっている。

現在の日本では、それぞれの分野に専門家が生まれ、活動している今日、分業化の間にギャップを感じる事がある。建築は建築において器を作り、作られた器の中を様々なインテリアデザイナーがデザインを行う。良くも悪くもそれぞれが主張しあう。

今日のようにデザイナーという言葉が一般的になる以前は、建築もインテリアもプロダクトデザインもプロジェクトの中において同一人物がトータルに行っていた時代があった。私は、今日こそ建築とインテリアとプロダクトデザインは一体的なものであり、同存すべきものであると考えている。



富田哲男

昭和52年度ID卒業(5期生)
 ㈱ヨコタデザインワークスタジオ
 環境インテリアデザイン部
 チーフデザイナー
 東京都世田谷区等々力7-6-10

総合インテリアプロデュースの方へ進んで行きたいと思う。

「5年前に輸入インテリアのハローネからこの(株)セサ・ジャパンへ、インテリア事業を任ずるということでヘッドハンティングされ、今はこのインテリア事業部長です」と話される岩村さんは歳より落ち着いて見える。(株)セサ・ジャパンはゼネラルホームインテックの系列会社で、インテリア事業を展開し、南仏ヘンティア商品の買い付けに岩村さん自身が行ったりと、営業とバイヤーをこなす忙しい日々だ。「卒業してすぐは、日本画の講師をしていました。学生時代は、自画像ばかり描いていたんですよ、それもなぜか後ろ姿をね。で、日展出品日の前日お腹が痛くなりまして、盲腸だったんですが、数日後に入選発表があり見事入選、それが一番嬉しく印象に残っている名芸時代の出来事ですね」じつは、岩村さんは双生児だそうで、弟さんも絵が上手く、インテリアパースなども描いているとか。最後に見せてもらったものは今年の5月に岩村さんが結婚した時の奥さんと幸せそうに写っている写真。

奥さんもインテリアコーディネーターをされていて、「将来は総合インテリアプロデュースに進んで行きたいと思っています。それで、うちの奥さんや、弟の力も合わせる事ができたらいいですよ」と答えてくれた。



岩村和信

昭和56年度日本画卒業(9期生)
 ㈱セサ・ジャパン
 インテリア事業部 部長
 名古屋市中区丸の内3-19-14
 林敬ビル9F

MOVEMENTS

いづみや名古屋営業所
 プレゼンハウス名古屋

052-241-3777

名古屋市中区栄3-7-22
 FAX 052-241-3799



デザイン画材の
 専門店いづみや
 名古屋パルコ店

パルコ東館3F
 電話052-264-8517
 10時-9時

IZUMIYA

大胆な構成——繊細なディテール これが展示デザインのコツ

有限会社エムツー企画

（株）エムツー企画には、代表者の一人である吉田将光さん、昭和49年度工業デザイン科2期卒業と、同じく工業デザイン科昭和50年度3期卒業の和田修さんの2名が在籍。吉田さんは、卒業後株カトウスタヂオに入社、児童博など、大型プロジェクトを担当し、同僚の社員と2人で同社を退社し、（株）エムツー企画を創設。

現在、（株）エムツー企画は、約百社近いクライアントを抱え、展示会という仕事上、クライアントの職種は多岐にわたり、仕事の内容は、国際展示

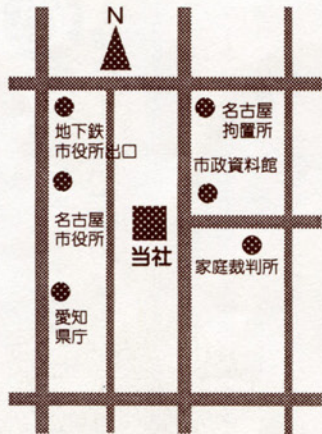


写真左 吉田将光さん
右 和田修さん

場、吹上ホール等における、エレクトロニクスショー、ファッションセラミックスショー等の企業ブース設計、施工管理。



三重ハイテクフェア・マツダブース



WORKING NOW

「日本最大級の百貨店」にふさわしい 広告をつくりたい

株式会社松坂屋

松坂屋名古屋店販売促進部宣伝課
グラフィックデザイナー
16期日本画卒業生

石橋佳代子

松坂屋へ入社して三年目になります。人と接する機会の多い職場で自分の力を生かしたい、というのが就職時の第一条件でした。女性がグラフィックデザイナーとして入社するのは、会社はじまって以来はじめてということ、最初はいろいろと戸惑うことが多く、暗中模索の状態でした。現在は宣伝課で、折込みチラシ・ポスター・ダイレクタメール・パンフレット・新聞広告などの制作をしています。デザイナー兼ディレクターという仕事ですが、大学で日本画を描いてきたことが直接企業で役立つわけではないので、広告に必要な印刷のこと、写真のこと、写植のことなど覚えなければならぬことが沢山ありました。ただ、自分がやった仕事がかたちになって残るのがうれしくて、これまでやってきたような気がします。広告というのは、お客様の購買意欲をそるような効果を出さねばならず、自己表現の手段として絵を描いてきた私にとっては、制作目的のベクトルが全く逆方向を指しているの、頭をやわらかくして早く切り替えられるように努力しています。悩んで考えた広告ほど、出来上がった時のよこびは大きく、自分の作ったものが新聞に載ったり、ポスターになって地下鉄の車内に吊るしてあったりするのを見ると、この仕事をしていて良かったと感じます。

今年の春、名芸の卒業生が3名入社してきました。その一人である山下剛史くんは、希望どおり

すぐに装飾課へ配属になり、店内におけるディスプレイや陳列器具・マネキンなどの設営・管理、店内広告物の管理といった仕事に携わっているようです。女性の加藤欣子さんと山室明子さんは、売場で販売研修を受けていますが、秋にはたぶん宣伝課で、二人揃って私と机を並べることになると思います。

この春、南館のオープンに伴い日本で一番大きな百貨店になりましたが、十一月のグランドオープンに向けて、ますます忙しくなりそうです。



■日本画

- 第22回日展東海展
 中日賞 飯田 祐二 6期
 入選 上村 洋介 5期
 近藤 哲夫 5期
 白井 久義(5期)
 落合 初美 7期
 外山真紀子 9期
 木村 徹夫(10期)
 林 世宝 18期4年在学時
 横井千恵子 18期4年在学時
 第19回江南市美術展
 市議長賞 江口 圭三 18期4年在学時
 第16回日仏現代美術展
 優秀賞 林 世宝 18期4年在学時
 第26回日春展
 日春賞 佐々木淳一 6期
- 洋画
 中部春陽会90年展
 特別賞 杉浦 尚史 5期
 第68回春陽展
 絵画・奨励賞
 杉浦 尚史 5期
 立体部門入選
 名川 敬子 17期
 第20回現代日本美術展
 名川 敬子 17期
 第16回日仏現代美術展
 入選 原田 卓三 17期

■彫刻

- 第22回日展東海展
 入選 河村 佳則 7期
 長坂 紀義 11期
 第21回日彫東海展
 東海TV賞
 長坂 紀義 11期
 第51回美術文化展
 入選 清崎 晃代 17期
 東海伝統工芸展
 名古屋市長賞
 白井 和成 4期
 第13回日本新工芸展
 入選 谷口 松吉 11期
 中部二科展
 特選 橋本 恵吏 7期
- デザイン
 コマーシャル・フォト90年 9月号
 入賞 水谷 文彦 12期
 第51回美術文化展
 入選 美濃部幸代 7期
- ASCENT 12月号
 第3回大学祭ポスターコンクール
 コピー賞 美術学部 芸大祭ポスター
 「芸術ホルモン」
 ※グランプリは早稲田大学(早稲田祭)

生涯学習大学公開講座の開講に当たって

生涯学習センター長 岩田 大

今度、名古屋芸術大学、西春町教育委員会、師勝町教育委員会、尾張中央タイムズ社の協同主催で表題の公開講座を開講することになりました。期日は10月1日から12月20日にわたり、音楽・美術両学部キャンパスの各教室を使って行います。

昨春秋ごろから関係者間の話もたれ、それがまとまって、このように実現することになりました。それには、文部省の大学改革への期待に沿う意味もあって、名称もそのさいの表現をそのまま使うことになったと言えます。

講座の内容は、ちなみにその題名をあげますと、「世界の文学」、「世界はいま」、「生活とデザイン」、「絵画の世界を語る」、「仏教美術史概説」、「日本土俗画の心を読む」、「現代の彫刻と技法」、「音楽はこうして楽しむ」、「人生と音楽」、「音楽の心」と、一般教育・美術・音楽あわせて10講座・57コマのバリエーションに富んだ内容になっています。したがって、講師をする教官も28名と壮観です。なお、受講定員は300名ですが、現在のメドでは、どうやら一杯になりそうです。

日頃、ややもすると、何かのために学ぶ学生に多く接している私としては、最初から、学びたいから学ぶこれらの方々と、共に学べる期待が思いのほか大きいのが奇妙な感じでした。また、これを機会に、名古屋芸術大学が少しでも「社会に開かれた大学」になることを期待するものです。

9月11日記

何気なく過ぎていく毎日を自分のためにつかいたい。この秋、名古屋芸術大学が生涯学習大学公開講座をはじめます。あなたが求めていた『何か』がきっとここにあるはずです。

生涯学習大学公開講座

開講期間 - 1991年10月 → 12月
 主催 名古屋芸術大学
 西春町教育委員会
 師勝町教育委員会
 尾張中央タイムズ社



第4回同窓会のご案内

今年は、ぜひとも同窓会にご参加ください。

同窓会会長 酒井 豊

美術学部同窓会も4回を迎えることとなりました。手作りの域をぬけられませんが、軌道に乗れたように感じられます。今回も先回と同様、会報と同窓会開催の計画で精一杯ということになりましたが、内容が一つ増え、中条泰彦先生（日本易学連合副会長）を迎えての講演会が企画されています。楽しみにお越し下さい。このようにゆっくりにペースの中、一步一步着実に進めてまいります。今後もしもそれなりに充実した企画をし、皆様楽しんでいただける同窓会を考えていきます。しかし、何ぶんにも少ないメンバーです。みなさまのお知恵を拜借して、よりよい同窓会を運営していきますのでご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



←第1回ゴールデンブライズ授賞式

- | | |
|-------------|---------------|
| 山田佳明 (1期ID) | 江藤太郎 (2期ID) |
| 水谷優一 (2期VD) | 臼井和成 (4期彫刻) |
| 田川 弘 (9期洋画) | 佐々木淳一 (6期日本画) |
- 受賞者のみなさん



名古屋芸術大学美術学部第3



■第三回同窓会総会
九十年十一月十七日
名古屋ターミナルホテル

役員紹介



酒井 豊 (1期ID)
会費未納の1期の皆様、
お早く振込み願います。



長尾 久道 (2期VD)
名芸同窓の輪を広げ、
人生を楽しみましょう！



吉田 将光 (2期ID)
卒業後十数年
こんな顔になりました。



青木 高弘 (4期ID)
キャンパスへ
タイムスリップしよう！



白井 久義 (6期日本画)
いつもマイペースで生きていま
す。



山田万喜夫 (5期洋画)
名芸を卒業して早〇〇年、
しかし、まだ夢と若さに…



杉浦 尚史 (6期洋画)
総会で会いましょう。



飯田 祐二 (6期日本画)
なつかしい顔との再会を。



水谷文彦 (12期VD)
一人でも多く参加し、自分自身
に広がりを持ちましょう。



三澤摩里子 (12期VD)
同窓会とはどういうものなのか
と、考える今日この頃です。



松澤 聡 (14期洋画)
アコード・エアロデックス i
探している方連絡ください。



石橋佳代子 (16期日本画)
全卒業生が、名芸大出身を誇り
に思う為に。



渡辺真由美 (17期日本画)
元気で明るい私と同窓会、
よろしく。



藤原由佳子 (17期日本画)
若さがとります。